



和田 美奈 議員



災害弱者の安全な避難

昨年の西日本豪雨では真備町での死亡者の約8割が高齢者や障害者であった。全ての人が安全に避難できるような質問する。

JR播磨新宮駅北のまちづくり
問 播磨新宮駅北地区活性化の全体ビジョンや具体的な進め方を伺う。

答 当駅周辺は、都市交流拠点と位置づけて整備しており、今後は、少子高齢化に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

問 新宮小学校東の市街化区域の現状をどのように把握し、良好な住宅地形成を目指すために何が必要と考えているか。

答 土地区画整理事業も含め、スプロール化対策が必要であると認識している。小割開発の道路が連絡するよう提案や指導していきたい。今後、地域の協力を求めた上での区画道路整備について、調査・研究したい。

問 避難行動要支援者マニュアルはあるが、災害時に有効に機能する仕組みになっているか。

答 今後は、対象者や対象者を支援する福祉の専門家と地域をつなぐ、防災推進専門員の設置も含めて検討していきたい。

答 個票作成を担う民生委員や自主防災組織の構成員の高齢化も進んでいる。本年度、防災と福祉の連携促進モデル事業を担う西東小学校区で実施予定。避難訓練に、高齢者や障害者、福祉の専門家も参加し、避難行動要支援者の避難行動計画について検証し、自主防災組織との連携を進めていく。

野見宿禰を軸とした本市のPR戦略

問 本市に眠る「野見宿禰」を観光の目玉に位置付けるには、今が勝負。

来年に東京五輪が迫る中、



スピード感を持って「たつの市ならではの観光コンテンツ」を強力に打ち出すべき。また、超人気漫画「バキ道」の板垣恵介先生からも「起きる宿禰……！」というキャッチコピー案を個人的に頂戴し、野見宿禰が当麻蹴速に勝利したとされる7月7日に野見宿禰をPRするような企画も面白いのでは、とアドバイス頂いた。本市ゆかりの「とんぼ」も別名「勝ち虫」。勝利の地・たつこのとして、相撲にこだわらず、本市が五輪をはじめ、様々な分野の勝利を期する人にとって、パワースポットとなるような取り組みを行うべき。

答 今回、大相撲姫路場所所のパンフに野見宿禰の謂れを掲載し、龍野のPRを予定している。市として日本遺産の北前船の取り組みも行う必要がある。今後企画展やソフト的な展開を検討したい。



肥塚 康子 議員



高齢者の運転免許証の返納後の対策及び移動手段について

問 運転免許証返納後の移動手段が大切に思う。どのような対策また移動手段があるか。

答 コミュニティバスなどの3年間無料定期券・「あかねちゃん」の乗車券60枚交付などを、また高齢者のみの世帯では、条件付きでタクシー利用券500円を年間最大30枚交付している。

問 自主返納促進事業におおて、近くでも区域外運

行ができない新宮や御津地域においてはタクシーの方が便利な場合がある。高齢者タクシー券が「あかねちゃん乗車券」に交換できるのと同様に、「あかねちゃん乗車券」をタクシー券に交換できないか。

答 市の施策である公共交通を利用してもらった交通を促進する。市、県の免許証返納施策を活用していきたい。

問 駅の無い御津では、遠隔地以外の利用者は少なく、生活圏である姫路方面にも、区域外にも行けない。そのため免許証返納をためらう高齢者も多いと思うが、どう考えるか。

答 移動手段は、まずは家族内で話し合っていたら、免許証返納後は、市、県の免許証返納施策を活用していきたい。



問 山の斜面など危険地域におけるパネル設置などは、災害の危険性などを鑑みると市の多岐にわたる課に関係するので連携を強化し災害を未然に防ぐ必要を感じる。千m未満の土地への設置に対してはどうか。

答 市民からの相談を受けて、設置事業者に地域住民への説明や住民要望への対応を依頼している。

太陽光発電に係る環境保全と安全対策について

問 山の斜面や頂上付近への太陽光パネルの設置は、環

